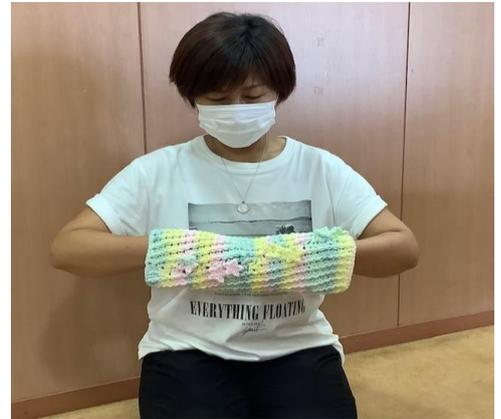
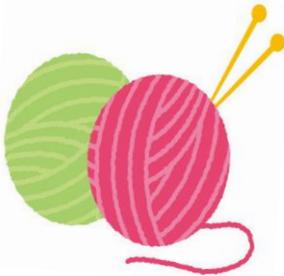


編み物ボランティア募集中!



認知症ケアで使われる筒状のニット『認知症マフ』

手を入れた時の温かな感触や中の飾りを握ったり掴んだりすることで、点滴針を抜く行為や、ベッド柵を掴みガタガタ動かす行為が止まり、ホッと落ち着くという報告があります。

編み物が得意な方や好きな方、手編みのマフ作りをお手伝いいただけませんか。

個人でもグループでも、空いている時間を使って編み物でボランティアして頂ける方を募集中です。(※シニアボランティアポイントの対象となります)

横浜総合病院で認知症マフを取り入れており、大場地域ケアプラザが窓口となり定期的にマフをお届けする長期的な支援を目指しています。

❀「認知症マフ」説明会❀

日時：令和5年8月28日(月) 9:30~10:30

場所：横浜市大場地域ケアプラザ 多目的ホール

講師：医療法人社団 緑成会 横浜総合病院

老人看護専門看護師 伊藤加代子様

社会福祉士 駒井 宏美様

内容：「認知症マフ」とは 認知症マフを作る目的・効果

病棟での活用方法・活用の様子 認知症マフを作る際の注意点

※10:30~ ご希望の方には❀編み方講習会❀を予定しております。

普段お使いの編み棒やかぎ針、毛糸等をご持参ください。



お問い合わせ先

横浜市大場地域ケアプラザ

地域活動交流 熊谷

横浜市青葉区大場町 383-3

TEL 045-975-0200

<http://www.hama-wel.or.jp/office/ooba/>

あざみ野駅より東急バス

②番乗り場 (71・72系統) から乗車